

南部町の全国学力・学習状況調査

3年間のまとめ

平成19年度から、全国の小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象にして、国語、算数・数学（A：知識に関する問題、B：活用に関する問題）と生活習慣や学習状況に関する調査が実施されています。

今回は、南部町の児童生徒の3年間分の結果についてまとめたものを報告します。

教科に関する調査結果より

【小学校6年生】

国語Aでは、「国語への関心・意欲・態度」が、国語Bでは、「書くこと」「読むこと」の領域と「国語への関心・意欲・態度」が全国平均より下回っています。「国語への関心・意欲」を点数化するためには、問題文を読んだり書いたりする必要があるので、やはり「書くこと」と「読むこと」が課題であるといえます。

算数はA・Bとも、「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で下回っています。

全体として全国平均よりやや下回っており、学校間の差も見られます。

また、テレビやビデオ・DVDを長時間見て、家庭学習の時間が全国平均より少ない傾向は続いています。算数は特に繰り返し練習が必要な教科なので、基礎基本を定着させるためには、家庭でも継続的に復習をする必要があります。

小学校6年生では、「国語の勉強が好き。」「算数の勉強が好き。」と答えている児童が、毎年、全国平均より上回っています。それが教科の正答率につながるように、学校、家庭、関係機関の工夫と努力が今後必要です。

【中学校3年生】

全体として全国平均並みで、年度や教科によっては、平均よりやや上回っているときもあります。

中学生になると、「学校の授業時間以外に、普段1時間以上勉強時間している」と回答した生徒がやや増えている半面、テレビやビデオ・DVDを長時間見ている生徒も、やはり多いといえます。

また、学習塾（家庭教師を含む）で勉強していると回答している生徒が全国平均より多い傾向が見られますが、そう答えている生徒と国語・数学の正答率とは相関関係が高くないという結果も出ています。

別な言い方をすると、中学生では、塾に行っていないでも、自分が主体的に学習できているかどうかということによって、学習の効果が違ってきているということだと思えます。

教科に関する調査結果 (平均正答率：単位%)

【小学校6年生】

科目 年度	国語A				国語B				算数A				算数B			
	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県
H19	81.7	81.7	0	84.4	62.0	62.0	0	64	80.5	82.1	△ 1.6	84.2	61.4	63.6	△ 2.2	65.0
H20	64.7	65.4	△ 0.7	68.0	47.7	50.5	△ 2.8	51.7	63.2	72.2	△ 9.0	73.3	44.7	51.6	△ 6.9	52.2
H21	65.2	69.9	△ 4.7	70.9	48.6	50.5	△ 1.9	50.5	75.2	78.7	△ 3.5	72.2	50.1	54.8	△ 4.7	55.9

【中学校3年生】

科目 年度	国語A				国語B				数学A				数学B			
	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県	南部町	全国(公立)	全国との差	鳥取県
H19	84.1	81.6	2.5	81.9	73.0	72.0	1.0	72.0	75.3	71.9	3.4	73.3	58.2	60.6	△ 2.4	61.2
H20	75.6	73.6	2.0	75.5	61.5	60.8	0.7	61.3	67.2	63.1	4.1	64.4	52.2	49.2	3.0	50.9
H21	78.5	77.0	1.5	79.3	70.5	74.5	△ 4.0	76.4	63.8	62.7	1.1	64.0	56.7	56.9	△ 0.2	58.4